



被災地では依然として復旧の課題が山積 東日本大震災 復興支援 夏休みボランティアへ！

東日本大震災から1年4か月が過ぎましたが、被災地では依然として復旧の課題が山積しています。被災地の現状は、写真やTVを見ただけではとても伝わらないというのが、実際に現地を訪れた人の感想です。

全国災対連(災害被災者支援と災害対策改善を求める全国連絡会)が紹介する、災害復興支援「夏休みボランティア」を案内します。

詳細は、高教組HPトップページ下段にUPしている要項をご覧下さい。

どの地域の活動も、ボランティア保険への加入が条件です。

自己完結型(食糧・飲料水・必要器具等は自前で用意)で応募してください。

高校生等の参加は事前に相談してください。

岩手

期間：7月20日～8月31日

(お盆(8/13～8/15)休業)

活動対象被災地：岩手県陸前高田市

活動内容：ボランティアセンターが紹介した内容(時期によってニーズは変化します)(現在は草刈り、水路・側溝の泥出しの支援活動が多い)

受け入れ条件：

- 個人と団体(5人以上)に合わせた対応準備となるので、事前に連絡・登録をすること
- 自動車の用意をお願いします

宮城

期間：7月20日～8月31日

(お盆(8/12～8/16)休業)

活動対象被災地：石巻市内または女川町内

活動内容：漁協の手伝い(貝の糸通し)、被災住宅にお住まいの被災者へのお手伝い、被災者の要望の聞き取り、支援物資の仕分け・お届け、その他被災地が希望している内容での支援活動(時期によってニーズは変化します)

受け入れ条件：

- 日帰りボランティアはご遠慮下さい。最低2泊3日以上から受け入れます。
- 運転免許証のある方はぜひご持参下さい。

・事前にFAXでの申込みが必要です。

福島

期間：7月28～29日 8月11～12日
8月25～26日

活動対象被災地：福島市・伊達市・伊達郡の仮設住宅

活動内容：

- 仮設住宅を訪問し、被災者・避難者の実態と要求を把握する

・支援物資を配布しながら、要求の聞き取り(アンケート)を行う

受け入れ条件：

- 日帰りボランティアはご遠慮下さい。
- できるだけ車に乗り合わせての参加をお願いします。
- 事前にFAXでの申込みが必要です。

ボランティア派遣費用は職場のカンパでお願いします。

本部からボランティア保険の申込みをします。(保険料は全教負担) 各県へ申込みと一緒に、名前(ふりがな)・性別・住所・生年月日・期間を本部へFAXで連絡してください。 本部FAX: 078-351-3185

神戸で開催!
みんな参加してね

みんなで21世紀の未来をひらく 教育のつどい

教育研究全国集会 2012 in 兵庫 8/17～19

教育のつどいは、分科会の魅力に触れるチャンス!

教育のつどいの2日目・3日目は、教科別・課題別に分かれて分科会を行います。

日頃の教育実践がレポートに! 兵庫からも多数の報告

分科会では、日頃の教育実践をレポートにまとめた全国の仲間が報告を行い、それをもとに研究・討論を深めます。例えば、第3分科会「社会科教育」には、25本のレポートが提出されており、兵庫からは「今、伝えたい! 原発と放射能被曝の現実(中学)」「高校生と学んだ沖縄(高校)」「東日本大震災からの復興を考える(高校)」の3本が報告されます。第4分科会「数学教育」で報告される兵庫からのレポートは、「どの子にも『分かる』喜びを『できる』楽しさを(小学校)」「おおまかに数をつかむ力を(高校)」の2本です。全体では29の分科会で400本近くのレポートが提出されています。

初めての参加者も安心して参加できる

分科会運営についての申し合わせには「参加者がすべて対等、平等の関係で研究・討論を進められるよう運営します」「初めての参加者も肩肘張らずに研究・討論に参加できるような運営をめざします」とあります。教研集会には参加したことがないという方もぜひ参加して、全国の仲間の実践に触れていただきたいと願っています。